

授業科目 中枢神経系評価学Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
押木 利英子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GI0】 中枢神経障害（発達障害）の病態を理解し、理学療法を施行するための評価項目が分かる。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 正常・異常運動発達を理解できる。 2. 発達障害に対する理学療法評価項目を挙げることができる。 3. 評価項目を理解し実施できる。 4. 事例の症状について評価しその理解ができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	正常運動発達	1	講義、担当：押木 利英子		
2	異常運動発達	1	講義、担当：押木 利英子		
3	各種発達テスト、姿勢反射、基本姿勢・動作の観察（1）	2・3	講義、担当：押木 利英子		
4	各種発達テスト、姿勢反射、基本姿勢・動作の観察（2）	2・3	講義、担当：押木 利英子		
5	各種発達テスト、姿勢反射、基本姿勢・動作の観察（3）	2・3	講義、担当：押木 利英子		
6	脳性まひ児の姿勢評価・動作分析からの思考の展開	1～4	講義、グループ討議、担当：押木 利英子		
7	低筋緊張児の姿勢評価・動作分析からの思考の展開	1～4	講義、グループ討議、担当：押木 利英子		
8	まとめ		担当：押木 利英子		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法評価学 第2版		松澤正	金原出版	2004・6,510円
	乳児の発達のみかたのエッセンス		吉岡 博	診断と治療社	2004・1,400円＋税
参考書	小児理学療法テキスト			南江堂	2010・4,000円＋税
その他の資料	必要に応じてプリント配布				
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、授業態度、期末試験などを通して総合的に評価する。					